



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー

〜二日目のカレー・食中毒の危険!〜

二日目のカレーは美味しい!良く耳にします。大量に作り2、3日かけて楽しむ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、その食べ方は要注意。間違った方法で保存すると、カレーの中に潜んでいる可能性のある「ウェルシュ菌」が増殖してしまうのです。ウェルシュ菌は自然界で幅広く生息している菌で、1g当り10万個以上増殖した食品を食べると発生し、下痢や腹痛などの食中毒症状が現われます。この食中毒を防ぐためには、「菌を増やさない」事が重要です。特に夏場は室温での放置は大変危険です。「できあがったカレーを夕食まで置いておきたい」そんな時は菌の増殖を防ぐために、カレーの温度を下げないようにしましょう。もしカレーが余ってしまった場合は小分けにして素早くカレーを冷すようにします。翌日も油断は禁物、十分に熱を通して、早めに食べるようにしましょう。

訪問看護日誌

訪問看護で伺っている患者さんの中には、末期のガン等の終末期の方も少なくありません。先日、訪問させていただいた日さんにも末期のガンの患者さんです。病院に入院なさっていました。ご家族のいる自宅に帰りたい、とご本人の強い希望があり、ご家族も



訪問診療、訪問看護、その他のサポートをケアマネージャーと相談し、ご自宅へ戻られました。ご家族は帰宅後すぐに実行したいことがありました。入院中になかなか入浴ができませんでした。医師と看護師が患者さんのお身体の状態を確認して日程を調整し、ケアマネージャーの速やかな動きも相まって、訪問入浴が実現しました。ご本人も横になったまま、手足を伸ばしての入浴、気持ちよさそうに目を細めていらつしやいました。このようにご希望される事がありましたら、遠慮せずに仰ってください。実現のために一緒に考えさせていただきます。

ひびくつむ



梅雨明けと同時に、酷暑の毎日です。今年も5月から熱中症予防の呼びかけをさせて頂いており、皆さんも十分に注意されていると思います。熱中症の初期症状は、めまい、立ちくらみ、生あくび、大量の発汗、筋肉痛、筋肉のこむら返り、このような症状があった場合は、熱中症を疑ってみましょう。すぐにエアコンの効いている室内や風通しの良い日陰などの涼しいところに避難し、身体を冷し、水分補給をしましょう。

リハビリケア岡野です



脳出血により右半身に麻痺がある69歳のKさん。歩くときは杖と足に装具を使用してありますが、発症前にはテニスやゴルフ等と趣味も多彩で活動的な方でいらしたそうで、リハビリにも常に前向きに、根気強く取り組ん

すたっふ便

でいらつしやいます。日常的には、県民福祉村のウォーキングコースでの歩行練習、セニアカーと電車を利用して映画鑑賞や外食、ゴルフシユミレーターを使つての練習や料理教室に参加するなど、積極的に外出を含めての行動範囲を広げられています。今後の目標としては、「ゴルフコースに出ること」その希望を実現するためにお仲間と計画を立てているそうです。このように、利用者さんお一人お一人が、今までできなかった事ができるようになった、今まで外出できなかった場所に出かけられた、そんな報告はスタッフにとって大きな喜びであり、周囲の利用者さんにとっても大きな刺激になっています。



朝方に花が咲いても昼にはしぼんでしまう青色の花。朝露のような儚さからツユクサの名前が付けられました。三枚の花びらのうち、上の二枚が大きく青色をしており、この花色は「露草色」という伝統色です。「万葉集」では、はかない命や心変わりの象徴として「月草(つきぐさ)」の名で登場しています。

後期高齢者、国民健康保険の方は、八月一日から保険証が変わります。お間違いないようをお願い致します。

八月の予定ー葉月



休診日 三日・十日・十一日・十二日・十三日
十四日・十七日・二十四日・三十一日

医療事務スタッフを募集しています。
お問い合わせください。